

## 平成29年度 第3回西蒲警察署協議会議事概要

開催日時	平成29年12月19日（火）午後1時30分から午後3時30分まで		
開催場所	西蒲警察署講堂		
出席者	委員 (定数8人)	丸山会長、高井副会長、石添委員、高橋委員 中原委員、長谷川委員、廣川委員、山上委員	計8人
	警察	澁谷署長、渋谷副署長、原警務課長、 清野生活安全課長、伊藤地域課長、 村山刑事課長、佐藤交通課長、警備課長	計8人

### 管内の治安情勢

署長から、平成29年11月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

### 前回の答申事項に対する業務推進状況

各担当課長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

#### 1 交通死亡事故抑止対策の推進

##### (1) 高齢者の交通事故防止対策

自治体等と協働し、老人クラブの会合や各種イベント等を通じた交通安全広報の推進

##### ア 老人クラブ等における交通安全教室の開催

西蒲区役所と協働し、各種老人会等の会合において、交通安全講話や高齢者の靴等に対する夜光反射材の直接貼付を実施した。

##### イ 高齢者家庭訪問活動の実施

西蒲区、西蒲地区交通安全協会と連携し、巻地区、中之口地区、潟東地区において家庭訪問活動を行い、高齢者事故防止のちらしや夜光反射材の配布を実施した。

##### ウ 商業施設における交通事故防止広報

西蒲区及び西蒲地区交通安全協会並びにすわ保育園園児と連携し、リオンモール巻店において、買物客約200人に対して、交通事故防止のちらしや夜光反射材の配布等の啓発活動を実施した。

##### エ 地域イベント等に参加し、交通安全広報及び防犯指導の実施

多加良祭やガスイベント等に参加し、来場者に対して交通安全広報及び防犯広報のちらし、夜光反射材等の配布を実施した。

オ 防災無線等を通じた広報

西蒲区役所や弥彦村役場に依頼し、毎月10日の交通安全家庭の日や秋の全国交通安全運動、交通死亡事故多発警報発令に伴う緊急対策中における広報を実施したほか、民間ラジオ局であるエフエム角田山コミュニティ放送（株）にも同様の呼び掛けを実施した。

(2) 夜光反射材着用の推進

巻地区、西川地区の靴店4店舗の協力を得て、靴購入者に対して夜光反射材配布を依頼したほか、温泉施設3か所においても交通事故防止のちらしや夜光反射材の配布を実施した。

(3) 交通死亡事故を防止するための交通指導取締りの強化

ア 自治体、西蒲地区交通安全協会等と協働した交通安全指導の実施

秋の全国交通安全運動の一環として、交通指導所を開設し、交通事故防止の呼び掛けを実施した。

イ 交通機動隊と連携した多目的検問の実施

交通機動隊の応援を得て、善光寺地内の国道116号において多目的検問を実施し、交通安全広報や防犯広報を実施した。

## 2 高齢者を中心とした特殊詐欺被害防止対策の推進

(1) 広報啓発活動の推進

ア 金融機関や駅のほか、防犯指導所を設置しての広報啓発活動、高齢者世帯訪問による注意喚起を推進した。

イ 官公署や長寿大学等の研修会において、特殊詐欺被害防止講話を実施した。

ウ 防犯カレンダーを作成し、地域包括支援センターを通じて高齢者に配布した。

(2) 金融機関やコンビニエンスストアと連携した水際対策の推進

ア 金融機関において、特殊詐欺の被害現状について講話するとともに、水際対策について協力依頼した。

イ 西蒲地区金融機関防犯連絡協議会における研修会では、県本部安全安心推進補佐が「特殊詐欺の現状と対策」に関する講話を実施するとともに、水際対策について協力依頼した。

ウ 金融機関、コンビニエンスストアに対し、県本部が作成した「特殊詐欺被害防止だより」を配布して、特殊詐欺の現状を周知してもらい水際対策について協力依頼した。

(3) 捜査の過程で押収した名簿を活用した被害予防対策の推進

名簿登載者に対する電話や訪問による防犯指導を継続推進中

(8月から11月までの間、473人のリスト配信を受け、防犯指導を推進中)

### 諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

#### 1 彌彦神社二年参り・初詣における雑踏事故防止対策の推進

(1) 目的及び応援体制

彌彦神社の二年参り及び初詣については、例年、県内外から約25万人の参拝客でにぎわうが、過去のいわゆる「彌彦事件(昭和31年1月1日午前0時10分発生  
の雑踏事故(死者124人)」を教訓として、12月31日から翌年の1月3日までの4  
日間を全署員体制で雑踏事故の絶無を期するとともに、各種事案防止及び円滑な  
交通の確保を最重点に万全な警備を実施する。

なお、12月31日の二年参りについては、警備部機動隊からの応援を得て実施し  
ている。

(2) 昨年(平成28年～29年)の実施状況

- 平成28年12月31日の二年参りにおける参拝客は2万人(神社側発表)であり、  
前年と比較し5,000人減少した。
- 初詣(1日から3日の合計)については、悪天候により、参拝客は22万人と  
前年と比較し5,000人減少した。
- 渋滞状況については、早期の交通規制により解消するなど、トラブルや苦情  
等は全くなかった。

(3) 昨年の参拝客数等

- 12月31日(土) 二年参り 2万人 (前年比 -5,000人)
- 1月1日(日) 初詣 11万人 (前年比 -1万3,000人)
- 1月2日(月) 初詣 5万人 (前年比 +5,000人)
- 1月3日(火) 初詣 6万人 (前年比 +3,000人)
- 4日間合計 24万人(-1万人)

○ 団切りの状況

- ・ 平成27年～28年(61回)  
二年参り 11回 (23:40～0:40)  
1月1日 50回 (10:30～17:30)  
1月2日、3日 (団切り なし)
- ・ 平成28年～29年(53回)  
二年参り 9回 (23:38～0:40)  
1月1日 63回 (11:08～16:54)  
1月2日、3日 (団切り なし)

○ 期間中の拾得物等関係

拾得、遺失物 合計14件、迷子2件

## 2 街頭犯罪抑止対策の推進

(1) 現状

11月末現在、窃盗犯は前年より減少しているが、空き巣や居空き、車上ねらい  
が前年より多く発生している。

(2) 対策

- ア 街頭活動の推進
- イ 鍵掛け広報の推進
- ウ 検挙活動の強化

諮問に対する意見・質疑等 (○は署長等の説明)

**1 特殊詐欺被害の件数が減少しているが、被害防止広報の効果なのか。又は前兆電話が減少しているのか。**

- 特殊詐欺の前兆電話については、相談でも多く寄せられており減少はしておりません。また、一定の地域に集中してくる場合もあります。被害が減少している理由としては、被害防止の広報啓発活動や金融機関における水際対策等の効果が徐々に出てきていると考えます。

**2 車上ねらいの被害が多いとのことであるが、被害に遭う場所は自宅又はスーパーマーケットや保育園の送迎などが多いのか。**

- 車上ねらいの被害は自宅のカーポートが多く、そのほとんどが無施錠の状態で被害に遭っています。スーパーマーケットや保育園の送迎時における被害は管内では発生していません。また、自宅の鍵を掛けない方が多いので、近所の方にも広報をお願いします。

**3 車上ねらいの被害品は現金が多いのか。**

- 現金や貴重品が被害に遭っています。被害に遭わないためには鍵掛けと車の中に現金や貴重品、バッグ等を入れておかないよう注意してください。

**4 特殊詐欺に関して、知人から「総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」というはがきが来たが、どうしたらよいかとの相談があった。詐欺だと思うので警察に相談した方がよいと教示したが、このような相談は多いのか。**

- 法務省をかたり「民事訴訟管理センター」を名乗るはがきが自宅に届いたという相談が多数寄せられています。身に覚えのないはがきが届いた場合、記載された電話番号には電話せず、警察に相談してください。

**5 西蒲署の治安概況の中で、地区別の刑法犯認知件数の説明があり、潟東地区は前年同期比で5件増加したとのことであるが、どのような犯罪が増えたのか。**

- 潟東地区においては、空き巣が2件、傷害1件、その他の窃盗犯が2件増加しています。

**答申**

西蒲警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり各種施策を積極的に推進するよう答申した。

**速度等取締り指針の策定**

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

**その他**

# 1 指紋等採取体験

協議会開催前に指紋等採取体験を行った。

【協議会開催状況】



【指紋等採取体験状況】

